

総合調整会議（2015.10.21）

- 日時：平成27年10月21日（水） 午前8時50分～午前9時15分
○場所：栗東市役所3階談話室
○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<会議内容>

1. 市長の指示事項

市長からの指示

- ・たばこ業者への貸付金にかかる住民訴訟については、適切な対応を行うこと。
- ・臨時市議会が開催される。答弁などの対応について、万全の準備で臨むこと。
- ・自治会から提出される要望事項がまとまる時期である。各要望には適切に対応、検討を行うこと。
- ・草津倉庫跡地の活用について、具現化に向けて進展が図られるため、情報共有を行うとともに、交通対策等への対応に関して、自治会、住民説明をしっかりと行うこと。

2. 報告事項

【案件名】コミュニティバス路線の見直しについて

→ 市民部長から説明

- ・平成25年10月に近江鉄道(株)運行の済生会病院線が廃止を受けて、その対応について守山市等と協議を重ねてきた結果について報告するものである。
- ・平成25年10月に済生会病院線が廃止され、まちづくり座談会において、コミュニティバス路線による運行の復活要望があった。また、平成27年10月には、葉山学区要望として出庭地域のバス運行について要望が提出されている。
- ・平成26年5月に守山市との情報交換を開始し、近畿運輸滋賀支局、守山市、近江鉄道(株)などと協議を行っている。
- ・平成28年度中にコミュニティバス路線としての運行が開始できるよう、今後も協議を進めていく。

[市長]

- ・平成28年10月を目標に運航を開始するということか。

[市民部長]

- ・関係機関等との協議や調整が必要であることから、時期は明確にはできないが、基本的には平

成28年10月に運行開始できるよう取り組んでいる。

[副市長]

- ・遅くとも、平成29年3月には開始できるということか。

[市民部長]

- ・平成28年10月から平成29年3月までの期間内には、運行を開始できる。

区分：了解

【案件名】交通災害共済事業検討会の提言書について

→ 市民部長から説明

- ・市町村交通災害共済組合議会において、今年度に組合のあり方について具体的に検討を開始する旨の方針が示され、6月に構成市町の担当で組織する検討委員会が設置されたことに伴い、委員会の検討結果の概要と今後の予定を報告するものである。
- ・検討委員会では合計4回の会議が開催された。その会議における検討結果について、新聞報道もされているが、資料の内容のとおり提言が行われた。
- ・今後の予定について、事業継続の可否について再度、組合議会で議論されるが、事業廃止の場合には、構成市町は組合規約の変更、解散に係る議案を上程する手続きとなる。また、事業の終了に向けたスケジュールは、基金の安定供給ができる平成29年度末で加入申込受付の終了、平成31年末で請求書の受付が終了し、その後、精算をしていく流れとなる。

区分：了解

【案件名】メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）早期予防事業について

→ 健康福祉部理事から説明

- ・本市国民健康保険の特定健康診査の結果では、メタボリックシンドローム予備軍の該当者の割合が高く、健康りっとう21の市民アンケートでは男性の30歳以上の各年代において3割の肥満者がおり、女性も同様の傾向があるため、将来メタボリックシンドロームになる可能性のある人が多くいることが考えられることから、早期の予防への取り組みを行っていく。
- ・事業を実施にあたって、市民の代表で知名度があり、日々の活動の中で啓発が可能な市議会議員、市長はじめ部長以上の職員に協力をお願いするものである。
- ・実施する内容について、2月19日に初回の個別面接を実施し、その後半年間で個別面接などを随時行っていく。

区分：了解

【案件名】介護支援ボランティア制度について

→ 健康福祉部長から説明

- ・元気な身体を維持し、元気な高齢者がボランティアを通じて地域への貢献することにより、要介護状態になるのを防ぐことを目的に介護予防事業として導入する。
- ・これまでの検討経過について、平成24年の市議会12月定例会議の個人質問答弁、平成26年の市議会3月定例会議の文教福祉常任委員長報告において、それぞれ事業を検討していく答弁をしており、平成26年度から検討を進めている。具体的には、先進地視察を行って他市事例も参考にしながら検討を進めている。また、第6期栗東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、介護ボランティア制度の導入を図ると明記している。
- ・平成28年度下半期から介護支援のボランティア登録ができるように、ポイント制度の実施方法、対象者、活動内容などと合わせて、ボランティアの受け入れ可能な施設の確認を関係機関と協議調整をしている状況である。

[市長]

- ・事業実施に向けて、全体事業費や委託先、その運営方法、実施効果など、今後、具体的に検討を進めていくこと。

[健康福祉部長]

- ・他市事例では、平成26年度のボランティア登録者が、目標の300人に対して141人であり、その内、ポイント還元をされた人は34人であったと聞いている。本市においては、目標を50人、その内、ポイント還元は40人をベースに想定している。

区分：了解

3. 閉会

副市長からの挨拶

- ・来週は臨時市議会、議会説明会が開催されるため、適切に対応すること。
- ・平成28年度予算編成に向けて、タイトなスケジュールで各種計画が輻輳して策定されている、各部課において、協議と調整を適切に図って進めていくこと。

以上